

# 私の留学体験記

中山 悦子

記号のような韓国語を読めるようになりたい  
と思い、勉強し始めたのがきっかけで、学んで  
いくうちに、現地に行き実際に生活しながら、  
韓国語を学びたいと思い、留学を決意した。そ  
して、2008年3月から12月まで韓国のソウ  
ルにある建国大学の語学堂に留学した。

授業は、午後1時までで、午後は自由時間と  
いった日々を送っていた。学校は、中国人が大  
半をしめており、最初の3カ月は現にクラスメ  
イトは私を抜いて全員中国人というクラスメ  
だった。韓国に留学しているのに、中国にいる  
気分だった。しかし、授業を通して、韓国の文  
化はもちろん、中国の文化や中国人と日本人の  
考えの違いなどを理解することができた。

私が留学中に1番文化の違いを体験した事が  
ある。それは結婚式だ。友人のお姉さんの結婚  
式に行ったのだが、まず新郎新婦とは面識がな

いのに結婚式に呼ばれた事が私には不思議だっ  
た。日本だったら招待状がないと入れないため、  
本当に親しい人しか結婚式に参加できない。し

かし、韓国では、多くの人でわいわいと祝う為、  
友人の友人、近くの近所の人まで参加できる。  
そして式が終わると、食事を食べるのだが、そ

こも少し日本とは違う。日本では、食事を食べ  
ながら結婚式を見るのだが、韓国では、結婚式  
が終わった後に、結婚式場に設置してある食堂  
のようなどころで食べる。お酒を飲みながら、  
ご飯をたくさん食べて、わいわい賑やかにやる  
のが韓国式だ。最初見た時は、すごく違和感を

覚えたが、文化の違いを目に見えてよい経験を  
したと思った。結婚式だけでなく、基本的に韓  
国は、日本よりもみんな楽しんでむという事を好  
む文化なのだと感じた。その為、友人の友人と  
遊んだりする機会も多く、日本にいる時よりも

人見知りをせずに話せるようになった。性格も  
明るくなったといわれるようになった。

留学を終えて、10か月有意義に過ごしたなと  
思った。また、日本を離れた事で、改めて日本  
の良さ、悪さも実感する事ができたし、自分し  
か頼りにするものがないという環境から、精神  
的にも成長した。

留学 プライストレス お金で変えられない価  
値がある。